



ほ 多 富

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 アサーション・トレーニング
平木典子 著 日精研
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2017年6月1日 Vol. 176
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

貧困

今、この日本で普通に暮らしている私たちには知らないことがたくさんあります。それは「貧困」です。特に子どもの貧困です。現代の日本における深刻な社会問題のひとつが「子どもの貧困」と呼ばれる問題です。経済的貧困が直接・間接の原因となり、実の親と暮らせなくなった子どもたちの多くは社会的養護の元に育ちます。私たちの実質所得は、1990年代末にピークを迎えた後には下落を続け、現在は30年前の水準に戻っています。

一方で、「子どもの相対的貧困率」は2012年には過去最悪の16.3%でした。これは、6人に1人にあたり、約325万人の子どもたちが貧困状態にあるということになります。6人に1人の子どもが貧困と言われても実感は湧きません。それもそのはず。「貧しい子どもの姿」を日常生活では見ません。ファストファッションやスマホが見た目の格差をなくす役目を果たす一方、“見えにくい貧困”が、背後にある貧困問題や、家庭の問題を見えなくしています。

日本が一億総中流の国であるというのは今や完全なる幻想とも言えるほどに、その貧困率は世界的に見ても高いものです。貧困家庭にある子どもの比率、すなわち子どもの貧困率は、OECD 各国の中で日本よりはるかに社会状況が深刻そうな国々とはほぼ同じレベルです。特に、ひとり親家庭の子どもの貧困率はOECD加盟国中で最低です。

日本全体で、社会的養護の元に暮らす子どもは約4万6000人に上り、そのうち半数以上の子どもが虐待を受けた経験を持っています。

児童虐待報告件数は10年間で約2.7倍に増加し、2014年も過去最高値を更新しました。児童養護施設の退所年齢は原則18歳です。子ども達は、高校卒業と同時に施設を出て行かなければなりません。



また、施設で暮らす子どもたちの大学等への進学率は全国平均の1/4以下、大学等の中途退学率は全国平均の2倍以上です。人生で最も愛情を受けるべき時期に、その真逆の経験をしてしまった子ども達は、「頑張っていることがあるの？これまではいいことがなかったのに」という考えを持ってしまいがちです。だれもが当たり前前に“希望”が持てる社会の実現が求められますね。

うんこドリル

先日、東京へ行った際に電車の中の広告を目にしてビックリしました。それは『うんこドリル』と言う広告です。出版僅か2ヶ月で累計180万部を突破している漢字ドリルです。必ず例題に「うんこ」が入っています。

作者は古屋雄作さんという映像ディレクターです。もともと「うんこ川柳」というのを出したかったのですが、どこの出版社に掛け合っても断られました。当然、面白いだけでは売れません。そこで、漢字と掛け合わせて「子どもの学習に役立つのではないか？」と考えました。そのアイデアから完成したのが、『日本一楽しい漢字ドリル・うんこかん字ドリル』です。

アマゾンでの購入者のカスタマーレビューを見ると、「子どもが飽きないで本を読んでもくれると思います」「子どもの食いつきは尋常ではありませんでした」「ひらめいた仕掛人は、天才だ」「今日もうんこしよう！」と喜んで勉強しています」などなど好評です。

経営学の第一人者で有名なピーター・F・ドラッカーがこんなことを言っています。『いくつかの異なる知識の結合』という言葉です。ここに商品開発のヒントがあります。簡単に言うと『既存のものとは既存のものを組み合わせること』です。もっと簡単に言うと『今まであるものと今まであるものを組み合わせること』です。

電話とカメラ、そしてあらゆるものが組み合わさっている携帯電話は世界中でヒットしています。ヒット商品は案外身近な所にあるものなのかもしれませんね。



【座右の銘にしたい名言】



リスクが富を生む ～ A risk produces wealth ～

(ピーター・F・ドラッカー/オーストリアの経営学者)